

社会科資料読解ワークシート・ワークシート活用ナビ モニター申込要領

2020年4月

社会科資料読解ワークシート開発プロジェクト
(東北学院大学・教育出版(株)・(株)教育同人社)

当プロジェクトでは、小学校5・6年社会科を対象に、資料読解をするためのワークシートと、そのワークシートの活用法を示した「ワークシート活用ナビ」を開発しました。教科書や資料集など、多くの教材に共通して掲載されている重要な資料を取り上げており、児童の資料読解力の向上、あるいは教師が授業をする際の資料読解の視点を獲得できるものとなっています。

この成果を学校現場で役立てていただくため、開発した教材を活用いただけるモニターを募集いたします。希望される先生は、下記要領をご確認のうえお申込ください。

(プロジェクトリーダー：佐藤正寿 東北学院大学文学部教育学科・教授)

ワークシート・ワークシート活用ナビの概要・特長については次頁をご覧ください

◆お申込条件

- 原則として、教育出版の社会科教科書を採択頂いている地域の小学校であること。
(教科書に準拠した教材であるため)
- アンケートにご対応いただけすること。
(アンケートは教材を活用した実践前後に計2回程度を予定)
- 必要に応じて取材を行う場合があり、その際にはご対応いただけうこと。

◆モニター校への提供予定教材（無料）

・社会科資料読解ワークシート ……必要単元×児童数分

・ワークシート活用ナビ ……必要単元×1部（教師用）

上記をカラー印刷したものを提供いたします。ただし、印刷してご提供可能な数量の上限を、原則1校あたり1学年まで、かつ2単元までとさせて頂きます。

※モニター校は予定数に達しましたら締め切らせていただきます。

※教材の提供は、2020年4月以降順次行います。

※教材の著作権は当プロジェクトに帰属するため、**再配布は禁止**とさせて頂きます。

◆モニター期間 2020年4月～2021年3月（予定）

FAX : 03-3971-9188 プロジェクト事務局（教育同人社 企画部）宛

学校名	_____都道府県 _____立 _____小学校
ご担当先生名 (ふりがな)	()
担当学年	5年 · 6年 · その他 ()
ご連絡先	電話 : _____ - _____ - _____
	E-Mail : _____ @ _____

いただいた情報は、モニターの実施に伴う諸連絡および当プロジェクトにおける研究および研究成果発表（論文・学会発表等）においてのみ使用し、目的外に使用することはありません。

モニター実施にかかる
費用は無料です

【モニターに関するお問い合わせ先】
社会科資料読解ワークシート開発プロジェクト 事務局
(株)教育同人社 企画部 (担当:山田)
TEL: 03-3971-5152 Mail: pr@djn.co.jp

社会科資料読解ワークシート、ワークシート活用ナビの概要

重要資料に関する読解の視点をワークシート上で示したものであり、児童の情報活用能力と社会的な見方・考え方を育てる教材です。あわせて、教師にとって資料読解の指導法改善のきっかけとなることもねらいとしています。

＜開発方針＞

- ・各社の教科書で共通して取り上げられている重要資料を取り扱う
(例示資料などは教育出版の教科書に準拠)
- ・基礎的な読み取りだけでなく、考え方を深める問い合わせを入れる。
- ・資料の種類に応じた読み取り方が身に付くものとなるよう工夫する。
- ・授業時間のうち20分～30分程度の活用を想定する。

社会科資料読解ワークシート、ワークシート活用ナビの具体的な特長

- ・ワークシートに、ねらいを児童も自覚できるように記しています。
- ・ワークシートに、資料読解のための基本的な視点とポイントを明示しています。
- ・ワークシートに、考え方を深める問い合わせを記しています。
- ・ワークシートのまとめには、資料を読解してわかったことや考えたことを書くようにしています。
- ・ワークシートに様々な資料の読み取り方法が示され、教師が資料を読解し指導するための参考となります。
- ・ワークシート活用ナビに授業場面を想定した具体的な発問と指示が明記されているため、授業すぐに活用できます。

5年・6

2-1 米づくりのさかんな地域 米づくりがかかる課題

図 P76～P77

5年 組 各

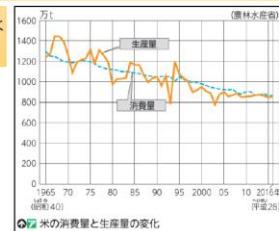
名前

①【ねらい】米の消費量の変化が、米づくりにどのようなえいきょうをあたえているかを考える。

②【基本】グラフの題・出典を読もう。

縦軸は ()

横軸は ()



③【基本】米の消費量と生産量は、それぞれどのように変化していますか。

※ヒント「全体としては？」「年ごとの上下は？」

④【ポイント】米の消費量と生産量を比べて気づいたことは何ですか。(消費量と生産量の関係)

⑤なぜそのようなことになったのか、理由を教科書から見つけよう。

⑥これから米の消費量と生産量はどのようにになるか予想しよう。

⑦米づくりにどのようなえいきょうがあるのか話し合おう。

⑧米の消費量と生産量はどのように変化しているのか、米づくりにどのようなえいきょうをあたえているのかノートにまとめよう。

⑨社会科資料読解ワークシート開発プロジェクト（東北学院大学）

ワークシート サンプル

5年・6 2-1 米づくりのさかんな地域 米づくりがかかる課題 図 P76～P77

活用ナビ

①【ねらい】米の消費量の変化が、米づくりにどのようなえいきょうをあたえているかを考える。

②● 題、出典を読みましょう。

● 縦軸・横軸は何か、書きましょう。

※題から「変化」を調べることを押さえる。

③● 米の消費量と生産量はどのように変化しているでしょうか。

全体的にどうなっているでしょうか。

年ごとにどうなっているでしょうか。

④● 消費量と生産量を比べて気づいたことは何でしょうか。

※理由も考えさせる。

⑤● なぜ、そのようなことになったのか、教科書から理由を見つけましょう。

※本文だけではなく、グラフからも考察させる。

⑥● これから消費量と生産量はどのようになると予想されますか。

※予想を米作りへの影響に結びつける。

⑧● ノートにまとめを書きましょう。

※ねらいに対応したまとめにするために、変化と影響の視点を指示する。

5年・6

2-1 米づくりのさかんな地域 米づくりがかかる課題

図 P76～P77

5年 組 各

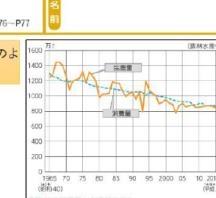
名前

①【ねらい】米の消費量の変化が、米づくりにどのようなえいきょうをあたえているかを考える。

②【基本】グラフの題・出典を読もう。

縦軸は (米の消費量と生産量)

横軸は (年)



③【基本】米の消費量と生産量は、それぞれどのように変化していますか。

※ヒント「全体としては？」「年ごとの上下は？」

・どちらも全体として少しづつ下がっている。
・生産量は年によって増えたり減ったりしている。
・消費量はほとんど下がり続けている。

④【ポイント】米の消費量と生産量を比べて気づいたことは何ですか。(消費量と生産量の関係)
・生産量が減ったから消費量も減ったと思う。
・消費量が減ったから、生産量も減らしているのだと思う。
・1980年ごろまでは生産量の方が多かったけど、95年ぐらいからは生産量の方が少なくなっている。

⑤なぜそのようなことになったのか、理由を教科書から見つけよう。

・米が余るようになって、稲の作付面積を減らした。(生産調整)
・ウのグラフのとおり、米の作付面積は減っている。
・エのグラフ農業で働く人が減っていることも関係があると思う。

⑥これから米の消費量と生産量はどのようになるか予想しよう。

・ますます少くなると思うから、対策が必要だと思う。

⑦米づくりにどのようなえいきょうがあるのか話し合おう。

⑧米の消費量と生産量はどのように変化しているのか、米づくりにどのようなえいきょうをあたえているのかノートにまとめよう。

◎社会科資料読解ワークシート開発プロジェクト（東北学院大学 佐藤正寿、教育出版株式会社、株式会社教育同人社）

ワークシート活用ナビ サンプル

ワークシートで扱う単元名・小見出（第5学年）

1-1	日本の国土と世界の国々 日本の国土はどこまで？	P14-15
1-2	国土の気候と地形の特色 日本のさまざまな気候	P22-23
2	未来を支える食料生産 全国からとどく食料	P58-59
2-1	米づくりのさかんな地域 一年間の米づくり	P66-67
2-1	米づくりのさかんな地域 よりよい米づくりをめざして	P70-71
2-1	米づくりのさかんな地域 米づくりがかかる課題	P76-77
2-2	水産業のさかんな地域 さまざまな水産物を求めて	P82-83
2-2	水産業のさかんな地域 水産業の変化と課題	P92-93
2-3	これからの食料生産 外国からもとどく食料	P108-109
3-1	自動車の生産にはげむ人々 自動車生産のひみつをさぐろう	P122-125
3-1	自動車の生産にはげむ人々 部品はどこから	P128-129
3-2	日本の工業生産と貿易・運輸 主な輸出品と輸入品	P144-145
3-3	日本の工業生産の今と未来 大工場と中小工場のちがい	P156-157
4	未来とつながる情報 身のまわりの情報	P170-171
4-1	情報を伝える人々とわたしたち ニュースにかける思い	P176-177
4-1	情報を伝える人々とわたしたち メディアの変化と、放送局の取り組み	P180-181
4-2	くらしと産業を変える情報通信技術 くらしの中に広がる情報通信技術（ICT）	P186-187
5-1	自然災害とともに生きる 自然災害と国土の自然条件	P204-205
5-1	自然災害とともに生きる くり返す自然災害	P206-207
5-2	森林とともに生きる 森林を身近に感じるくらし	P220-221

ワークシートで扱う単元名・小見出（第6学年）

1-1	憲法とわたしたちの暮らし すべての人が幸せに生きるために	P18-19
1-1	憲法とわたしたちの暮らし 裁判所のはたらき	P26-27
1-2	災害からわたしたちを守る政治〔せんたく〕 緊急の支援	P50-51
2-1	国づくりへの歩み 米づくりが始まる	P80-81
2-1	国づくりへの歩み 巨大古墳と大王	P84-85
2-2	大陸に学んだ国づくり 大化の革新と新しい政治のしくみ	P94-95
2-3	武士の政治が始まる 武士が現れる	P106-107
2-3	武士の政治が始まる 元との戦い	P112-113
2-4	室町文化と力をつける人々 質素で静かな美しさ	P118-119
2-5	全国統一への動き 戦国の世の中	P124-125
2-6	幕府の政治と人々の暮らし 江戸を目指す行列	P138-139
2-6	幕府の政治と人々の暮らし 江戸幕府と大名	P140-141
2-6	幕府の政治と人々の暮らし 鎮国への道	P144-145
2-8	明治の新しい国づくり 人々の暮らしが変わった	P176-177
2-9	近代国家を目指して 自由民権運動が広まる	P184-185
2-9	近代国家を目指して 日清・日露の戦い	P188-189
2-10	戦争と人々の暮らし アジア・太平洋に広がる戦争	P204-205
2-10	戦争と人々の暮らし 子どもたちと戦争	P208-209
2-11	平和で豊かな暮らしを目指して 産業の発展と国民生活の変化	P224-225
3-1	日本とつながりの深い国々 日本とつながりのある国	P234-235